

# 運動の楽しさを感じ、伸びを実感できる体育の授業づくり

岡山県津山市立清泉小学校

|       |      |
|-------|------|
| 全校児童数 | 52名  |
| 全クラス数 | 7クラス |
| 教職員数  | 15名  |

## Plan：取組時の課題と目的

### 1 取組時の課題

- ・児童アンケート「運動が好きでよく運動をしている」の肯定的回答が62%だった。
- ・休み時間の運動の固定化が見られていた。
- ・体力テストの得点が低い種目が握力とソフトボール投げの2種目であった。
- ・校内研修での体育の授業の研修機会があまりなかった。



### 2 取組の目的

①運動の楽しさを感じることで児童を増やし、運動する習慣を身につけさせる。

児童アンケート「運動が好きでよく運動をしている」の肯定的回答（A評価）75%以上目標。

②体育の授業についての研修を行い、児童が「できるようになった」と実感できる授業づくりを行う。

児童アンケートによる評価「体育の授業が楽しい」「できるようになったことが増えた」の肯定的回答が80%以上目標。



### Do：取組の内容

#### (1) 運動する場の設置

握力コーナーを1階と2階に設置し、日常的に児童が触れることで握力を向上させることができるようにした。



正しい投げ方等を身につけるための用具（ストラックアウト、ボールターゲット、スカッドキッズ2、フォームロケット）を設置し、休み時間や授業で投げる運動に取り組むことができるようにした。



(2) 岡山県の体力向上に関する事業の取り組み  
いきいき岡山っ子☆運動習慣カード、みんなでチャレンジランキング、体力アップ・マイベストチャレンジ！に取り組み、楽しみながら運動習慣を身に付けることができるようにした。

#### (3) 授業内容の工夫

準備運動にリズムジャンプや主運動につながる運動を取り入れることで、効果的に体を動かしてから授業に望むことができるようにした。

児童がグループで活動内容を決めたり、考えた技を発表したりする活動では、タブレットやホワイトボードを使用し、他の児童に考えを伝えやすいようにした。また、自分のレベルに合わせた場を選択できるように場の設定をした。

授業の軌跡やめあて、指導のポイントなどを体育館の壁面やホワイトボードに蓄積していくことで、これまでの学習の流れを確認することができるよう掲示した。



#### (4) 体育の授業研修

体育の授業公開を2回、外部講師による講義を2回行った。

授業公開の指導案検討では、活動内容や場の設定について職員全体で協議した。特に、場の設定を工夫したことにより、運動が苦手な児童も意欲的に活動することができた。



## Check：取組の成果

正しい投げ方等を身につけるための用具を用いて、体育の授業の投運動の単元などで主運動につながる準備運動を取り入れることができた。また、リズムジャンプを行うことで、音楽に合わせて楽しく準備運動ができ、その後の学習も意欲的に取り組むことができた。



○新体力テスト結果

「握力」全校平均0.6kg伸び、78%の児童が記録更新した。

「ソフトボール投げ」全校平均2.7m伸び、86%の児童が記録更新した。

○いきいき岡山っ子☆運動習慣カード（6月、10月、1月実施）

96%の児童が16ビンゴ2回以上達成。

○体力アップ・マイベストチャレンジ！

78%の児童が目標を達成することができた。

○児童アンケート

「運動が好きでよく運動をしている」の肯定的回答（A評価）は、63.5%であった。（A+B評価）で見ると、84.7%になり、4月より肯定的回答が増加した。

「体育の授業が楽しい」の肯定的回答は、96.1%。

「できるようになったことが増えた」の肯定的回答は、92.3%になり、どちらも肯定的回答が増加した。



Action: 今後の課題

○握力コーナーや正しい投げ方等を身に付けるための用具の活用法。

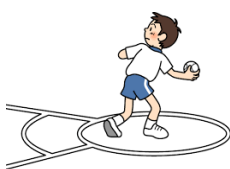
→これからも活用法等を考え、子どもたちが楽しみながら運動ができるよう工夫していく。

○運動の習慣化

→いきいき岡山っ子☆運動習慣カード期間外の運動の習慣化については、家庭と協力しながら行く必要がある。

○みんなでチャレンジランキングの他種目へ挑戦

→これまで、連続8の字とびの取り組みを行ってきたが、クラスでの取り組みにも挑戦する。



○授業内容の工夫

→準備運動や場の設定の工夫、学習内容等の視覚化を継続し、子どもたちが学習をスムーズに進められるようする。

○体育の授業研修

→職員の授業力を向上させるための研修の実施。



◎体育授業の充実がもたらす波及効果

○授業で行った活動を休み時間にも行う児童の姿が見られた。

○体育の授業の指導案検討や公開授業、講義を通して、職員の体育に対する関心が高まり、授業について話す機会が増えたり、日常的に体力を向上させるための取組を考えたりすることができた。

○運動することが好きになり、継続的に運動する機会が増えたことによって、肥満傾向の児童の肥満度が下がった。

○児童が、授業でできるようになったと実感することで、自分に自信をもつことができた。

